

# 総括

一般社団法人 J A 共済総合研究所 調査研究部 主任研究員  
福田 いずみ

私は当研究所において、主に J A の子育て支援に焦点を当てた調査・研究を進めてきました。そのことを踏まえて本セミナーの総括を行います。

J A は介護事業のイメージが強く、子育て支援というあまりピンとこない方もいらっしゃるのではないかと思います。J A の子育て支援の変遷をたどっていくと、戦後の設立当初から農繁期の託児所をはじめ、高度経済成長の時代には組合員や地域住民の要望に応える形で、

農村部に不足していた幼稚園や保育園を設立し、地域の子育てを支援してきたことがわかります。現在は子育てひろばの活動や、子育て支援センターをはじめ、子ども子育て支援法や企業主導型保育事業の制度を活用した保育園が運営されています。

その他に学童保育の運営や塾などの学習支援を行っている J A もあります。

いずれも地域のニーズに応える形で J A が取り組んでいるものです。<sup>(\*1)</sup>

地域の子どもに向けた取組みの中に、近年急浮上してきたのが「子ども食堂」の活動です。

J A は「農業」という地域に根付いた組織であり、「食」と密接にかかわっています。

事例報告にもありましたように、J A は食料提供をはじめ、J A 女性部による子ども食堂の運営など、様々な形で取り組んでいます。

J A 富士市の子ども食堂では、子ども食堂を実施したいという思いを持った、これまで J A とはかかわりのなかった地域の女性たちが、J A 女性部<sup>(\*2)</sup>に加入し、活動をともにしています。

このように子ども食堂は、今まで同じ思いを持ちながらも接点のなかった地域の大人たちが、活動を通じてつながる機会にもなっています。

子ども食堂は、子どもたちにより環境を提供したいという理念を持つ大人たちによって全国各地で取り組まれています。

子ども食堂の名づけ親とされる、東京都大田区にある子ども食堂「きまぐれ八百屋だんだん」の近藤博子さんが食堂をはじめたきっかけは、「給食の無い日はバナナ一本で過<sup>(\*)</sup>ごしている子どもがいる」という事実を知り、自分に何かできることはないかと考えたことだと言います。<sup>(\*3)</sup>

事例報告をいただいた J A 高知県の窪田支部長も、夏休みなどの長期休暇が終わると瘦せて登校する子どもがいる、ということを知り、子ども食堂をはじめました。

お二人の共通点は「おなかをすかせた子ども」に何かしてあげたいという思いに突き動かされたという点です。

子ども食堂の活動が爆発的に広がった要因のひとつには、子どもに対する極めてシンプルであたたかい思いがあるのだと思います。

コミュニティが希薄化する中、このような思

いを持った地域の大人が、将来大人になっていく子どもたちに善意の記憶をつないでいくことで、さらに次の世代の子どもも支援へと引き継がれ、安心して暮らせる地域づくりへとつながっていくのではないのでしょうか。

我が国は人口減少、超高齢社会という状況にあり、子どもの貧困や独り暮らしの高齢者など、孤立する人が増える中、国も地域共生社会の実現に向けて、支えあい、安心して生活できる地域をつくる活動である子ども食堂に期待を寄せています。

子どもから高齢者まで、誰もが自由に立ち寄れる、地域の拠り所になり得る、そんな可能性を秘めた子ども食堂は、今のところ市民活動のひとつですが、この活動が「子どもの居場所」など、今後何らかの形で制度化されていくことも考えられます。

J A 自己改革に加え、2020年3月に閣議決定された『食料・農業・農村基本計画』において J A 系統組織が「農村地域の産業や生活インフラを支える役割を果たす」ことが明記されました。<sup>(\*)4</sup>

J A はこれまで、介護や保育など地域を支える事業を展開してきましたが、将来的には子ども食堂がここに加わるかもしれません。

コロナの影響を踏まえ、子ども食堂の活動が今後どのように進化していくのか、私の研究テーマである J A の子育て支援の調査を続けていく中で、これからも子ども食堂の動きを注視していきたいと考えています。

(\*)1 福田いずみ「J A の子育て支援の変遷 ―多様化するニーズと展望―」共済総合研究」Vol. 75, 2017. 9. 62―79ページ

(\*)2 福田いずみ「J A による子ども食堂の展開」共済総研レポート」No.161, 2019. 2. 30―36ページ

(\*)3 福田いずみ「広がりをもてる子ども食堂」J A の関与と可能性」共済総研レポート」No.154, 2017. 12. 48―51ページ

(\*)4 「食料・農業・農村基本計画」我が国の食と活力ある農業・農村を次の世代につなぐために」(2020年3月31日閣議決定) 67ページ。

農林水産省ホームページ<https://www.naff.go.jp/keikaku/aratama/attach/pdf/index-13.pdf>